

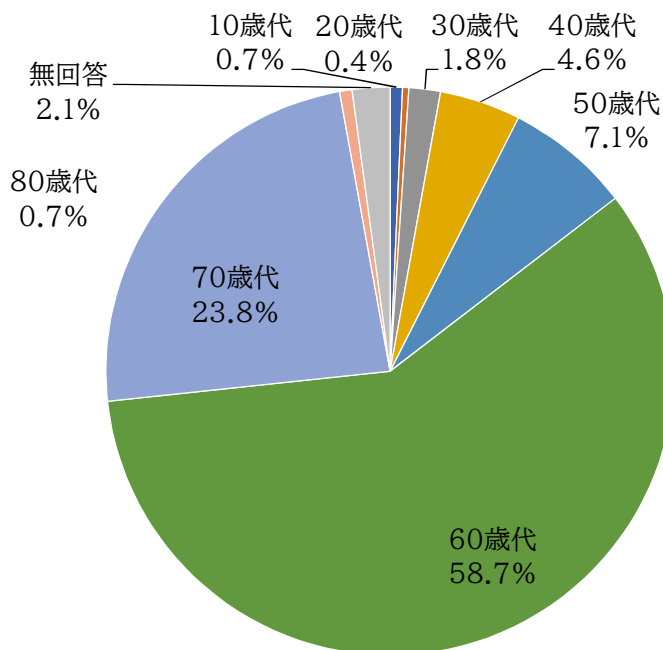
(件 名)

令和4年度市政懇談会 参加者アンケート集計結果

- 1 調査対象 令和4年度市政懇談会参加者
- 2 回答状況 参加者：323人 回収数：281枚 回収率：87%
- 3 集計結果

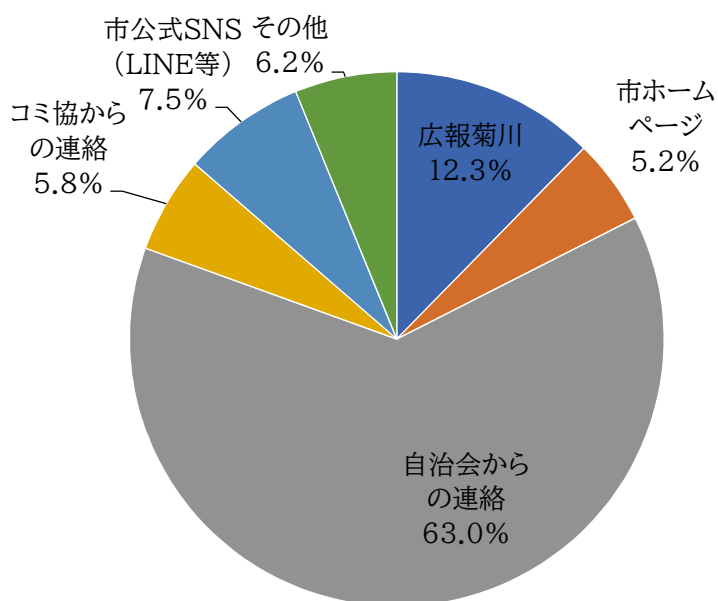
あなたの年代は

	回答数	構成比
10歳代	2	0.7%
20歳代	1	0.4%
30歳代	5	1.8%
40歳代	13	4.6%
50歳代	20	7.1%
60歳代	165	58.7%
70歳代	67	23.8%
80歳代	2	0.7%
無回答	6	2.1%
合計	281	100.0%



【問1】 今回の市政懇談会を何で知りましたか【複数回答】

	回答数	構成比
広報菊川	38	12.3%
市ホームページ	16	5.2%
自治会からの連絡	194	63.0%
コミ協からの連絡	18	5.8%
市公式 SNS (LINE 等)	23	7.5%
その他	19	6.2%
合計	308	100.0%

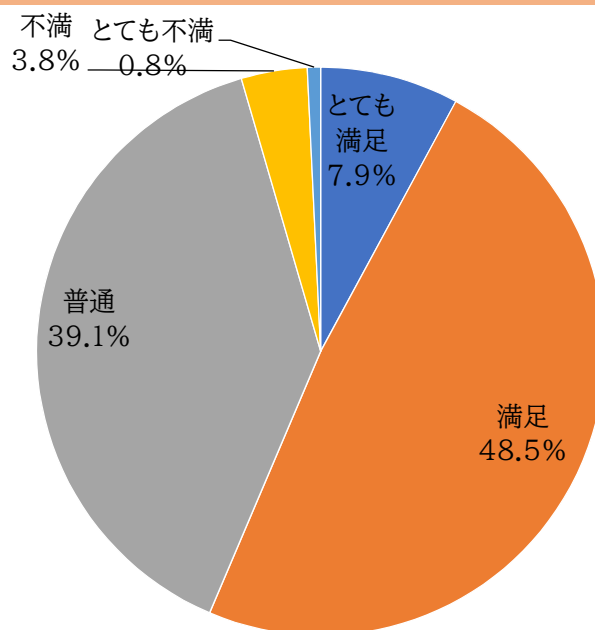


【その他】

- ・親
- ・地区センターのチラシ
- ・福祉団体

【問2】 今回の市政懇談会の総合的な満足度を教えてください

	回答数	構成比
とても満足	21	7.9%
満足	129	48.5%
普通	104	39.1%
不満	10	3.8%
とても不満	2	0.8%
合計	266	100.0%



【回答を選択した理由】

■ 「とても満足」の理由

- ・付せんに意見を書くという新しい発想が良かった
- ・市長の話を直接たっぷり聞くことができた
- ・進行がスムーズで無駄がなくよかった
- ・これまでの政策、市政、情報、イベントなどの説明がとても分かりやすかった
- ・市や市長の活動内容がよく理解できた
- ・これまで自治会とのかかわりがなく、今日は分かりやすく大変良かったです。
- ・内容がよく分かった

■ 「満足」の理由

- ・皆の意見を出せて良かったと感じる
- ・わかりやすい説明
- ・最後まで聞けませんでした。残念です。
- ・市長から行政の取り組みと現状を直接聞いたこと
- ・市長が自分の言葉で語っていたこと
- ・わかりやすい説明でした。資料が分かりやすい。
- ・付箋で多くの人の意見が共有できて良かった
- ・市がどのような取り組みをしているか分かった
- ・市長の説明が非常に良かった
- ・市長の取り組み、行政改革がとても感じられる
- ・市長の説明が分かりやすい
- ・市長の話が非常に分かりやすかった

- ・菊川市の取り組みがよく分かった
- ・途中参加で質疑応答の一部しか聞けなかった
- ・普段聞けないことが聞けた
- ・報告だけでなくワークショップ形式にすべき
- ・市の取り組みがよく分かった
- ・市長が変わり新たな取り組みがある
- ・過去に参加した際と比べて分かりやすかった
- ・PCの活用・テレビ番組・付箋の活用・高校生の活用など

■ 「普通」の理由

- ・意見交換の時間が少なかった
- ・方法は良かったが時間が少なく、もう少し市からの回答が聞きたかった
- ・市の説明が長すぎる(毎回思っている)

■ 「不満」の理由

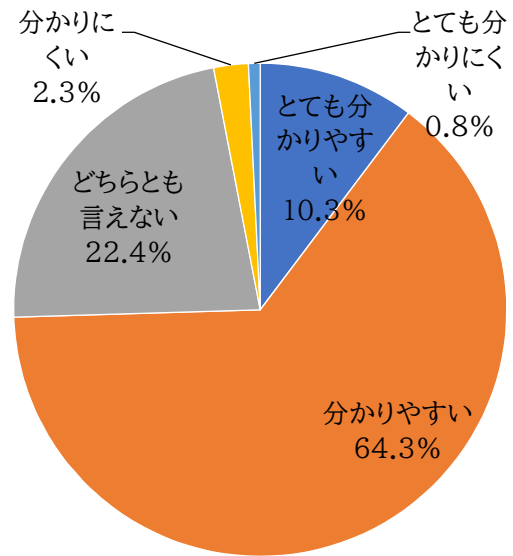
- ・せっかく各地域をまわって懇談会をやるのだから、そこに住む人の思いや願いなどを聞いてくれるのかと思い少し残念でした

■ 「とても不満」の理由

- ・懇談会の時間配分ができていない。説明時間が長く、もっと要点をまとめてほしい
- ・市長の自慢話が長い。経済・産業・福祉・教育の話題がない

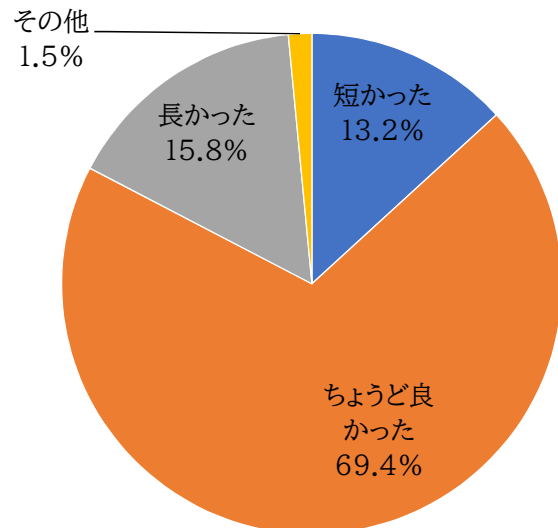
【問3】今回のテーマの説明内容はいかがでしたか

	回答数	構成比
とても分かりやすい	27	10.3%
分かりやすい	169	64.3%
どちらとも言えない	59	22.4%
分かりにくい	6	2.3%
とても分かりにくい	2	0.8%
合計	263	100.0%



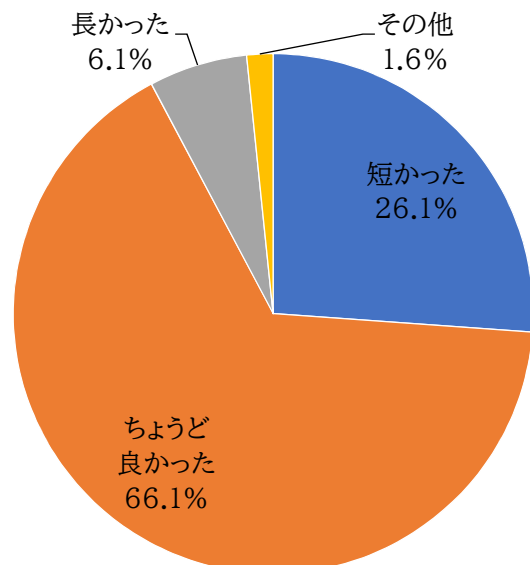
【問4】テーマに関する説明時間はいかがでしたか

	回答数	構成比
短かった	35	13.2%
ちょうど良かった	184	69.4%
長かった	42	15.8%
その他	4	1.5%
合計	265	100.0%



【問5】懇談(意見交換)の時間はいかがでしたか

	回答数	構成比
短かった	64	26.1%
ちょうど良かった	162	66.1%
長かった	15	6.1%
その他	4	1.6%
合計	245	100.0%



【問6】今後の市政懇談会で希望する「テーマ」はありますか

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 治水と健康 (70代) ・ 行政が取り組むデジタル化 (70代) ・ 道路状況、行き止まりの道が多い (60代) ・ 地域の課題を取り上げてもらいたい (70代) ・ 教育や保育、福祉に関して(年代無回答) ・ 未来のある子どもたちに関して(40代) ・ 障がい者にも優しい市である発信について(40代) ・ 少子化対策、高齢者移動手段確保について(50代) ・ 菊川南地区のにぎわい、発展、活性化(60代) ・ 東地区のかかえる課題、茶業、定住、移住(60代) ・ ごみ問題、環境資源ギャラリーの今後(60代) ・ 自然災害に対する取り組み個人の災害対策(70代) ・ 医療費の削減(70代) ・ 元気になる菊川市(70代) ・ ゴミの焼却量の削減に関して(70代) ・ 教育問題(60代) ・ 自治会(60代) ・ 意見交換するならテーマを絞る(60代) ・ 加茂地区のことをもっと前面に、地域の話(60代) ・ 公共サービスについて(60代) ・ ゴミを減らす市の取り組み(60代) ・ 防災、ごみ問題(60代) ・ 若い人の婚活(60代) ・ 「行政は最大のサービス業」を達成するための具体的な取り組みについて(60代) ・ 上下水道、大井川の水、地震・水害政策、少子化、原発(60代) ・ 自治会の役員の負担を減らす(60代) ・ 浜岡原子力発電所の再稼働について取り上げてほしい(60代) ・ 内田地区の高齢者の利便性がよくない。対応をテーマとしてほしい(60代) ・ 安心・安全な具体策(60代) ・ 原発などのテーマがなかった(60代) ・ テーマの数を減らし1つ1つ細かく懇談会をしたほうがいい(60代) ・ テーマを毎年変更せず5年、10年続けてほしい(60代) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 市政内容がない、イベントのみか(70代) ・ 高齢化に伴う自治会の活動運営について(60代) ・ 荒れ地対策について(60代) ・ 質問の時間が無かった(70代) ・ 治水対策(70代) ・ 菊川市の未来10年後(60代) ・ 太陽光発電の活用と説明(60代) ・ 各委員の活用(60代) ・ 意見交換(60代) ・ 自然災害(60代) ・ 菊川で育った子どもたちが大学生になった後、地元で就職するにはどうしたらよいか(60代) ・ 人口増、外国人とのつきあいかた(60代) ・ 補助金の説明(70代) ・ 安心安全の取り組み(70代) ・ ハザードマップの問題点、取り組み方法(70代) ・ 駅北開発について(70代) ・ 定住人口の増大対策(70代) ・ 地震対策(60代) ・ 移住に向けてのアピール戦略(60代) ・ 市民の意見を発言する機会を(60代) ・ 自治会運営のあり方(自治会組織の高齢化、自治会への不参加対応(60代) ・ 人口状況、若者移住(職も含む)状況(60代) ・ 年2~3回くらい希望(80代) ・ 市道等の雑草の処理について(60代) ・ 空地の利用に力入れる(60代) ・ 菊川市の産業、商工農業のこれから(60代) ・ 小笠側の掛川・浜岡バイパス開通後の展開(40代) ・ 菊川地区のような店はできるのか(40代) ・ 地区センターまで来るなら、地域の話があった方がいい(60代) ・ 健康的なまちを目指すためにすることは何(60代) ・ デジタル化について(60代) ・ ため池改修工事について(60代) ・ 子育て・教育・福祉(障がい者・高齢者)(60代) ・ 高齢化の現状(60代) |
|--|---|

<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題に関する菊川市の取り組み(60代) ・駅の工事の進捗状況について毎年懇談会の席で紹介願う(60代) ・青地(農地)の再利用をどう考えるか(70代) ・防災(水害)に関すること(70代) ・駅連絡通路を利用する人は地元周辺の方々や通勤通学に利用するの方々であるが、今の駅前のように人がいない寂しい駅前にならないよう人をどう集めるか(70代) ・こんなイベントしましたではなく、町の課題やごみの処理等のこととか苦労していることを取り上げてほしい。誰も文句言わないことばかり取り上げる(70代) 	<ul style="list-style-type: none"> ・停電対策の樹木の計画伐採はどうなっているか(70代) ・耕作放棄地の草刈について(70代) ・駅北開発の進行進捗について(60代) ・大井川の水問題について(今回も話には出たが、もっと掘り下げた形でお願いしたい)(60代) ・少子高齢化社会になっている現状の菊川で子どもを増やす政策(60代) ・5年、10年後の市政のビジョンを話してほしかった(60代) ・菊川の治水・防火対策を具体的に(60代) ・菊川市が具体的にやっている、またはやろうとしている少子化対策(60代)
--	--

【問7】その他、「開催方法」等ご意見がありましたらご記入ください

<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか意見を言うのに勇気がいるので、付せんはこれからも続けてほしい(70代) ・質疑応答の時間がもう少し欲しい(年代無回答) ・参加者がかたよっている。迎えに来た保護者や参観会の場など小中高生に時間をとってもらいアンケートを記入してもらおうとよい(40代) ・PRもとても大切ですが市民に寄り添った会になるようにしてほしいです(50代) ・休日に開催してほしい(60代) ・横向き資料のホッチキス止め上は見にくい(60代) ・市長の話は面白いが意見交換の時間がもっと欲しい(60代) ・広報も大事だが広聴も大切に(60代) ・市長の説明が長い、30分が限界(60代) ・Q&A方式がいい(60代) ・地区の希望意見等出し合う会にしてほしい(60代) ・6時半からのスタートは早い。女性は大変(70代) ・分かりやすい、今までと全然違う、ありがとう！(70代) ・メモ記入して答える、意思が伝わらない(70代) ・アーカイブ配信をして誰でもいつでもどこでも見れる形がいい(20代) ・ボランティアさんありがとうございました(60代) 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人の参加を、多くの人に市長の話を聞いてもらいたい(60代) ・この実施日時だと現役の若い世代が参加できない(60代) ・治水、ごみ関連の質問の回答が全く回答になっていない(60代) ・市長の説明の「継続性が必要」思いつきや、一過性の行事ではだめ、改善は継続しないと(70代) ・19時開始が助かる(60代) ・開催回数を増やしてほしい(60代) ・自治会の役員だけでなく色々な人に参加してもらいたい(60代) ・参加した人聞きたいことはそれぞれ違って難しいだろうが、短時間で多くの案件を説明するため理解しづらい(60代) ・意見交換を取り入れてほしい(70代) ・今の方法でよい(70代) ・一方通行の答弁(60代) ・市役所は言ってもらうではなく、動いて情報を取りに来い(60代) ・懇談会参加者増やす2票(50,60代) ・質問時間が欲しい(60代) ・テーマ以外の意見や質問の時間が必要(70代)
--	---

<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政の説明が欲しい(70代) ・ 今までの官の説明が、民の説明になった気がする 官重視でいくべき(70代) ・ 年1回ではなく上期、下期で開催(60代) ・ もう少し多くの住人の参加ができないか(60代) ・ 質問への回答を具体的に欲しい(60代) ・ 休日に開催し地区の意見を市当局に知ってもらいたい(80代) ・ 付箋方式の意見収集は良い方法(70代) ・ ボランティア参加とてもよい(70代) ・ 開始時間が早い(60代) ・ 質疑応答の時間が多い方がよいのでは(60代) ・ 参加の動員をかけるのではなく、もっと広く市民へ開催を通知して行うべき。根本的に市民目線になって開催の準備をするといい(60代) ・ 懇談会の目的を明確にして実施しなければ参加者が満足する懇談会にならないと感じる(60代) ・ 住みたいまちにするには、市民の健康(元気)が大切だと思います。市民の健康増進の取り組みを考えてほしいと思います(60代) ・ 自治会長だけでなくもっと様々な人が参加できるようにした方がいい(60代) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 六郷の人口は1万人もあり面積も広いので「六郷地区センター」を「牧之原婦人の家」での開催をお願いしたい。市長の話を知ったらなと思います。(60代) ・ 土曜日曜の開催希望(70代) ・ テーマが多すぎ。的を絞って各テーマを深く説明・検討してほしい(70代) ・ こういう職員さんが働くほど「出来レース」「予定調和」になっちゃうんだよね。もっと素朴な本来の意味の懇談会を。どこかの企業のプレゼンみたい(70代) ・ 市民の声を聞く方法に改善したらいい。質問に対する回答は、具体的に行う「くせ」を付けて行うといい(60代) ・ 現実問題として大変とは思いますが(職員休日手当他)土日開催の方が参加者は増加すると思います(60代) ・ 付箋を使って意見を求めるのは良かったが、質問に答える形で懇談とまではいかなかった(50代) ・ 付箋を使って意見を集約したのがよかった。みんなの意見を聞いた(60代)
---	--